

平成26年度愛媛大学共通教育貢献賞被表彰者

【1】

氏名，所属及び職名	<p>浅井 英典 愛媛大学教育学部教授 牛山眞貴子 愛媛大学教育学部教授 福 田 隆 愛媛大学教育学部教授 日野 克博 愛媛大学教育学部准教授 糸岡 夕里 愛媛大学教育学部講師 山本 直史 愛媛大学教育学部講師 石井 浩一 愛媛大学教育学部教授 田中 雅人 愛媛大学教育学部教授 藤 原 誠 愛媛大学教育学部教授 安藤 進一 非常勤講師 市 河 勉 非常勤講師 井門恵理子 非常勤講師 大西 崇仁 非常勤講師 佐伯 美香 非常勤講師 酒井 達郎 非常勤講師 西野 吉幸 非常勤講師 林 恭 輔 非常勤講師 丸山 裕司 非常勤講師 丸山 陽子 非常勤講師 三浦 累美 非常勤講師</p>
選考基準の該当事項	愛媛大学共通教育貢献賞実施要項第3条第1号（授業方法の開発又は優れた授業の実践に顕著な貢献があった場合）
選 考 理 由	<p>共通教育科目の初年次科目「スポーツ」を担当されている本学の専任教員及び学外非常勤講師の20名のグループは、入学生の体力・運動能力や運動習慣の二極化という課題に対応するため、また全学的必修科目としての授業内容や指導方法の標準化を図るため、運動の得手不得手にかかわらず、学生全員が一定の身体的教養を学修できるプログラム「愛媛大学版フィットネス・エクササイズ (E-fit)」の開発に尽力され、平成21年度より実際に授業に取り入れられている。さらに平成23年度からは、全50クラスに対する共通の成績評価規準を策定する取り組みを始められ、授業内容・指導方法・成績評価方法に関する改善をPDCAサイクルに従って進められている。これらの取り組みは、3度の愛媛大学教育改革促進事業（愛大GP）に採択されるとともに、論文としても公表されており、愛媛大学の取り組みは全国の大学から注目されている。</p> <p>以上の成果は、学外非常勤講師を含む授業担当教員の一致団結した授業改善の努力により達成できたものであり、授業担当教員全員を、第1回目の共通教育貢献賞「授業方法の開発又は優れた授業の実践」の該当者として選定した。</p>

【2】

氏名，所属及び職名	山本 久雄 愛媛大学教育学部教授
選考基準の該当事項	愛媛大学共通教育貢献賞実施要項第3条第2号（共通教育の充実又は発展に顕著な貢献があった場合）
選考理由	<p>山本久雄教授は、平成8年の教養部廃止後の、共通教育の企画・運営において、大学教育研究実践センター会議委員（平成9～12年度）及び大学教育総合センター副センター長（平成13～15年度）として中核的な役割を担われ、現在の共通教育の礎を作りあげられた。</p> <p>共通教育の実施に関しては、平成9年度から、ルネッサンスプランの策定、学部ごとの分担授業数、全学出動体制、授業案登録、英語教育のあり方等の議論に参画され、さらに平成13年度に改訂された共通教育のカリキュラム、履修単位数、時間割、開講授業数の決定にも尽力された。その後、大学評価・学位授与機構が実施した全学テーマ別評価「教養教育」における本学の自己評価書の作成を担当された。</p> <p>一方、共通教育改革と連携するFD活動の推進に関しても、愛媛大学教育ワークショップ（現在の授業デザインワークショップ）、全学教育実践シンポジウム、その他数多くのFD講演会の企画・運営に携わられるとともに、大学教育実践ジャーナルの創刊に関与された。</p> <p>このように、山本久雄教授の共通教育における功績は多大であり、その成果は国立大学法人化を経て現在に至るまで脈々と続き愛媛大学の特長となっている。よって、山本氏を、第1回目の共通教育貢献賞「共通教育の充実又は発展」の該当者として選定した。</p>